

# 主要事業概要

## (1) 道 路

### ① 粉河加太線（和歌山市 田屋、直川）

本路線は、紀の川市粉河より和歌山市加太に至る紀の川右岸地域を東西に結ぶ幹線道路である。

特に、当事業区間内である JR 紀伊駅前付近では、増加する交通量による慢性的な渋滞が発生し、経済活動や日常生活に支障をきたしている。

直川工区については、都市計画道路西脇山口線事業の延伸部として、現道が2車線で狭いうえに歩道も断片的にしかなく、慢性的な渋滞の解消、交通事故の防止のために、延長1.0kmのバイパス工事を平成21年度に事業着手している。平成26年度は引き続き用地取得及び工事を進める。

田屋工区については、宇田森工区と直川工区に挟まれた区間（延長1.4km）を平成24年度より事業着手し、平成26年度は用地取得及び工事を進める。

### ② 秋月海南線（和歌山市 和田）

本路線は、現道が2車線で狭い歩道も断片的にしかない状況であり、和歌山市の中心市街地東部の南北幹線道路である都市計画道路松島本渡線の一部として、慢性的な渋滞の解消、交通事故防止のために、神前から和田までの間延長1.2kmのバイパス整備を平成23年度に事業着手した。

平成26年度は、前年度に引き続き、用地取得及び工事を進める。

### ③ 三田三葛線（和歌山市 和田）

本路線は、現道が狭隘なため慢性的な渋滞を引き起こし日常生活にも支障をきたしている状況であり、和歌山市南部市街地の東西幹線である南港山東線の一部として慢性的な渋滞の解消・交通事故防止のため事業を進めており、県道秋月海南線から東への延伸として平成23年度より事業着手した。

平成26年度は、前年度に引き続き、工事を進める。

### ④ 和歌山橋本線（和歌山市 和田～吉礼）

本路線は狭小で、道路幅員が確保されていないため頻繁に渋滞が発生しており、そこに仮称和歌山南スマートインターチェンジが供用開始すれば、交通量増加が見込まれ、今以上に渋滞が発生し日常生活に支障をきたすことから改良が必要であり、和歌山市南部市街地の東西幹線である南港山東線の一部として平成25年度より事業着手した。

平成26年度は、引き続き測量設計業務を行い、用地取得及び工事を進める。

### ⑤ 国道370号（海南市 重根～木津、木津～沖野々）

本路線は、県北部の東西を結ぶ主要な幹線道路であり、海草地域から和歌山下津港

へのアクセス道路であるにも関わらず、管内における2車線改良済み延長は全体の59%（28.7/48.5 km）程度となっている。特に、海南市及び紀美野町の一部地域において、現道の幅員が狭小で交通容量が不足しているため、慢性的な渋滞が発生し、円滑な通行に支障をきたしている。

これらを解消するため、現在、海南市域において4車線改良により交通容量を拡大し渋滞緩和及びアクセス向上を図っているところであり、平成15年度に事業着手した重根地区1.2 km（重根拡幅）については、平成26年度に供用開始の見込みである。

重根から木津までの2.5 km（阪井バイパス）については、平成17年度に事業着手しており、平成26年度は用地取得を進めるとともに、一部区間において工事着手し、事業の進捗を図る。

また、木津から沖野々までの0.8 km（木津バイパス）については、平成21年度に事業着手し、平成26年度は用地取得及び工事を進める。

#### ⑥ 国道370号（紀美野町 大角～赤木、高畑～松ヶ峯、田～毛原下）

紀美野町域においては、2車線改良により隘路区間の解消及びアクセス向上を図っているところであり、このうち福井から大角までの4.1 km（美里バイパス）、及び毛原中から毛原上までの2.7 km（毛原工区）については、平成24年12月に供用を開始しており、小西から毛原中までの1.1 km（小西工区）については、平成26年度に供用開始の見込みである。

大角から赤木までの2.5 km（美里2バイパス）については、平成24年度に事業着手しており、平成26年度は用地取得を進めるとともに、一部区間において工事着手し、事業の進捗を図る。

また、高畑から松ヶ峯までの1.1 km（美里3バイパス）については、平成24年度に事業着手しており、平成26年度は用地取得を進めるとともに、一部区間において工事着手し、事業の進捗を図る。

さらに、田から毛原下までの未改良区間（美里4工区）については、平成26年度に事業着手し、測量調査設計を進める。

#### ⑦ 国道424号（海南市 上谷）

本路線は、海南市東部を南北に縦貫し紀の川市に至る主重な幹線道路であるが、有田川町境から海南市ひや水までの5.0 kmは、現道の幅員が狭小かつ線形不良のため、車両のすれ違いが困難であり、円滑な通行に支障をきたしている。

これらを解消するため、平成2年度に事業着手し、現道拡幅を行っているところであり、平成26年度は上谷地区において用地取得及び工事を進めるとともに、残る区間の測量設計に着手する。

また、木津地区0.3 km（木津バイパス）については、平成21年度に事業着手し、2車線のバイパス整備により隘路区間の解消及びアクセス向上を図っているところであり、平成26年度は用地取得及び工事を進める。

### ⑧ 国道370号（紀美野町 小畑～下佐々）

本路線は、現道の幅員が狭小かつ線形不良のため車両のすれ違いが困難であり、円滑な通行に支障をきたしている。

これらを解消するため、海南市野上中から紀美野町下佐々までの4.6kmについて、平成6年度から野上電鉄の鉄道跡地を利用したバイパス道路の整備を行っている。

このうち、海南市野上中から紀美野町小畑までの2.1km、及び紀美野町下佐々地区0.9kmは供用を開始しており、残る区間について、平成26年度は用地取得及び工事を進める。

### ⑨ 野上清水線（紀美野町 梅本～坂本）

本路線は、紀美野町の国道370号から有田川町に至る一般県道で、生石高原県立自然公園への観光ルートだけでなく地域の生活道路として重要な路線であるが、現道の幅員が狭小かつ線形不良のため車両のすれ違いが困難であり、円滑な通行に支障をきたしている。

これらを解消するため、平成24年度に事業着手しており、平成26年度は用地取得を進めるとともに、一部区間において工事着手し、事業の進捗を図る。

### ⑩ 海南金屋線（海南市 別所～汲沢）

本路線は、海南市の国道370号から有田川町の国道480号に至る主要な幹線道路であり、第2次緊急輸送道路に指定されているが、現道の幅員が狭小かつ線形不良のため車両のすれ違いが困難な状況である。

このため、広域幹線道路としての機能確保、及び地域の生活道路としての安全性確保を目的とし、平成9年度に事業着手し、重根の1.0kmについては平成25年3月に供用を開始している。

引き続き、別所から汲沢までの2.8kmについて、平成26年度は測量調査設計を進める。

## （2）河 川

### ① 河川環境整備事業

#### ◎和 歌 川

和歌川は、和歌山市内を南北に流れ、これにつながる大門川、真田堀川、有本川、市堀川、和田川、築地川、水軒川、紀三井寺川、中津川、津屋川、杭ノ瀬川の11支川からなる一級河川であり、和歌浦湾及び和歌山下津港に流入する感潮河川である。

特に市内の中心市街地を流れる和歌川、大門川、真田堀川、有本川、市堀川の5河川は通称「内川」と呼ばれ、その沿川は住宅地及び商工業地となっており、下水道整備等の遅れもあって、これら工場や一般家庭からの雑排水が直接河川に流れ込み、水質汚濁の原因となってきた。

このため河川環境整備事業として昭和44年度より和歌川水系の底泥浚渫に着手し、和歌川工区については平成16年度に完了している。

平成26年度は、大門川工区において、大門川橋よりJR鉄橋付近までの間の底泥浚渫に着手する。

また、水質浄化の一環として平成7年度より和歌川ポンプ場から浄化用水の24時間導水を行っており、水質の向上に向け取り組んでいる。

## ② 河川整備事業

### ◎ 土 入 川

本川土入川は、昭和28年度から紀の川合流点より約3.5km、支川打手川は、平成4年度から土入川合流点より約2.4kmの河川改修事業に着手している。平成26年度は土入川浚渫に支障となっている河川内の不法係留船対策として、係留施設を整備するとともに周辺道路の整備を行う。

### ◎ 和 歌 川 (広域河川改修)

昭和61年度から大門川工区は市堀川合流点より上流4.0km、和田川工区は和歌川合流点より約7.2kmの河川改修事業に着手しているが、和田川工区については、床上浸水対策特別緊急の新規事業として、和歌川河口部から上流5.95km間において事業採択を受け、平成25年度より着手している。平成26年度は和田川工区において、昨年度に引き続き下流より浚渫を進める。又、坂田橋から上流の矢板護岸と、吉礼地区において大型ブロックによる護岸工事を進める。

### ◎ 和 歌 川 (地震・高潮対策)

平成18年度から水門施設等の遠隔操作化及び和歌川ポンプ場下流の護岸の耐震化の事業に着手し、平成26年度は堤防耐震化工事を進める。

### ◎ 亀 の 川 (総合流域防災)

亀の川は、昭和40年度から河口より4.8kmの区間を事業化し、平成16年度は国道42号御里橋架け替え工事を完成した。平成26年度は国体3号橋から上流の左岸の護岸工事を進める。

### ◎ 七 瀬 川 (総合流域防災)

七瀬川は、平成6年度から紀の川合流点より2.7km区間を事業化し、平成26年度は用地買収及び護岸工事を進める。

### ◎ 日 方 川 (広域河川改修)

昭和63年度に中小河川改修事業として、平成3年度から新町橋から上流の延長0.9kmにおいて河道計画を行い、用地取得及び本工事を進めている。平成19年度には井松原橋、平成21年度には東橋の架け替えが完了し、平成26年度は未改修箇所での用地買収を進める。

### ◎ 加茂川（地震・高潮対策）

本事業は、平成14年度に河川高潮事業として、硯大橋より約0.4kmを事業化し、平成26年度は前年度に引き続き用地取得、及び本工事を進める。

## （3）砂防

### ① 砂防事業

下津町奥地内において、土砂災害の被害軽減を図るため砂防堰堤の整備を進めており、平成26年度は本工事を進める。

### ② 地すべり対策事業

海南市下津町小南地区においては、前年度に引き続き、地すべり動向調査を行うほか斜面对策のための用地取得及び本工事を進める。

## （4）都市計画街路

### ① 西脇山口線（園部・六十谷・川永）

和歌山市北部の開発等により急激に人口増加した中心地域であるが、現道の県道粉河加太線は、2車線で狭い歩道も断片的にしかなく、慢性的な渋滞・交通事故が発生している。

早期に事業効果を発揮できるよう交差点部を優先的に整備するため、平成14年度に事業認可を受け整備を進めている。

六十谷地域の残区間及び園部地域については、平成21年度に事業着手した。平成26年度は引き続き工事を進める。

また、川永工区については、測量設計及び用地取得を進める。

### ② 松島本渡線（神前南）

本路線は、和歌山市中部地域を南北に縦断するとともに和歌山市外周を環状に結ぶ路線の一部となる重要な道路である。

神前地区の交通渋滞の解消と将来的に市内の幹線道路ネットワークを形成するため、平成17年度に事業着手し、平成25年度に暫定供用を開始した。平成26年度は電線共同溝工事を進める。

### ③ 北島湊線

和歌山市北部では西脇山口線の整備が進むとともに、阪和自動車道と和歌山北インターチェンジが供用され、接続する紀の川右岸堤防上の県道も整備が進んでいる。本路線は、港湾道路と併せて紀の川右岸堤防上道路の一角をなす路線であるが、現道の幅員が狭小のため車両のすれ違いが困難な状況である。

本路線の整備を行うことにより、和歌山市の臨海部地域と紀の川右岸堤防上の県道を結ぶ各地域とのネットワークを構築し、港湾貨物輸送ルートを強化するとともに市街地への通行回避により渋滞の緩和を図るものである。

平成26年度は測量設計を進める。

#### ④ 日方大野中藤白線（海南市 日方～大野中）

本路線は、海南市内の環状道路を形成する主要な幹線道路であり、阪和自動車道海南東ICと国体会場である紀三井寺公園陸上競技場や和歌山セーリングセンターへのアクセス道路でもある。しかしながら、現道は幅員が狭く歩道も未整備であり、特に朝夕の通勤時の交通混雑が著しく、危険な状況となっている。

これらを解消するため、全長3.9kmのうち、第1期として馬場町1丁目から大野中字宮ノ後までの1.3kmについて平成11年度に事業着手し、平成24年度までに馬場町1丁目（国道370号交差点）から日方字深原までの0.7kmの供用を開始している。

引き続き、平成26年度は日方字深原から大野中字宮ノ後までの0.5kmについて、重点的に用地取得を進める。

#### ⑤ 黒江築地線（海南市 黒江～日方）

本路線は、海南市内を南北に縦断する主要な幹線道路であり、和歌山下津港と和歌山市南部地域を連絡する重要な路線である。

当該区間は、現道トンネル部の幅員が狭小で車両のすれ違いが困難であるうえ、歩道も未整備であり、交通の難所となっている。

このため、トンネルの拡幅整備を行うことにより、港湾貨物輸送アクセスの効率化及び歩行者等の安全確保を図るものであり、平成26年度から本格的にトンネル拡幅工事に着手する。

### （5） 道路保全事業

安全で快適な通行空間、都市景観の向上や都市災害の防止、情報通信ネットワークの信頼性の向上を図るため、和歌山野上線、新和歌浦梅原線で無電柱化事業を進める。

また、近い将来高い確率で発生が予想される東南海・南海地震などに備え、第二次緊急輸送道路に指定されている国道370号の橋梁の耐震化を図る。

### （6） 交通安全事業

死傷事故の再現性が高い箇所や、通学路における緊急合同点検の結果に基づく要対策箇所を中心に歩道整備や交差点改良等を実施し、交通安全対策を推進する。

平成26年度は、和歌山市内の和歌山橋本線、粉河加太線及び海南市内の岩出海南線、国道424号において用地取得及び工事を進める。

## (7) 県営農道整備事業

当事業は、農業生産物や生産資材等の流通の合理化など地域農業の振興を図るための事業としてだけでなく、紀美野町のふれあい公園や動物愛護センターへのアクセス道路として重要な役割を担っている。

全体計画2.1kmのうち、1.4kmについては平成15年度に工事が完了しており、残る区間

0.7kmについて、平成26年度は工事を進める。

## (8) 公園整備事業

平成27年度の「第70回国民体育大会」を開催するメイン会場である、紀三井寺公園の整備を進めるものである。

平成26年度は、駐車場、遊戯施設等の外構工事を進める。

